

編集後記

今回「本を通した心のふれあい体験談」を広く県民の皆様にも募ったところ、たくさんの方々からご応募いただきました。

体験談一つ一つには、本との出会いがその後の人生に大きな影響をもたらした様子や、本を通した人とのふれあいのすばらしさが紙面いっぱいに表示されていました。改めて本が持つ魅力やそのすばらしさに触れることができたと思います。

どちらかといえば、読書好きとはいえない私がこの事業の担当となり、はたして本の持つ魅力やすばらしさを伝えることができるか不安で一杯でした。しかし、投稿されてくる体験談一つ一つを読ませていただく中で、いつの間にかそんな不安は吹き飛んでいました。今では、中、高校生になった我が子たちになぜ、幼いころもつと読み聞かせをしてあげられなかったのかと悔いているほどです。しかし、今でも遅くないと奮起一番読み聞かせをしてみようと、「おさるはおさる」「ゆうたはともだち」などの絵本を購入してみました。また、学校が「朝の読書」を実施するなら、我が家では「夜の十分間読書」を家族で実施しようと試みました。なかなか毎日とはいきませんが、十分間という短い時間なので、一日の終わりに少しだけ心にゆとりを持てるよう続けていけたらと思っています。

当センターでは保育園、幼稚園、学校、地域、家庭等で行われている先進的な読書活動について、聴き取り調査をもとに「『豊かな心』をはぐくむ読書活動―実践事例に学ぶ―」

として冊子にまとめました。読書を通して「人を育てる」ことへの教師やボランティアの熱い思いが感じられる取組を紹介しています。この体験談集とともに「一読いただければ幸いです」。

なお、ご応募いただいた体験談のうち、紙面の都合上割愛させていただいたものもあります。また、掲載させていただいた体験談はタイトル、所属、氏名は応募作品の記述のとおりとしています。内容につきましては応募作品に忠実な掲載を心がけましたが、表記を含めて、一部修正を加えさせていただいたものもあります点、ご容赦ください。

この冊子が、様々な活用され、「本を通した心のふれあい」が一層広がることを祈念しています。

栃木県総合教育センター

研究調査部

K

本との出会い

人とのふれあい

―「本を通じた心のふれあい」体験談―

平成十六年十一月

発行 栃木県総合教育センター

編集 栃木県総合教育センター 研究調査部

〒332-0002 宇都宮市瓦谷町一〇七〇

電話 〇二八（六六五）七二〇四

FAX 〇二八（六六五）七三〇三



「栃木の子どもをみんなで育てよう」運動



古紙配合率100%再生紙を使用しています